

3類型	農林水産物	通巻番号	4 - 22 - 005
地域資源名	茶	認定日	平成22年10月4日
地域	新城市、豊橋市、豊川市、 田原市、豊田市	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名：田原茶の特徴である肉厚茶葉の効能を活かした健康志向の「お茶入り極薄チップス」の製造販売事業

会社名：磯田園製茶株式会社

所在地：愛知県田原市田原町柳町28番地の1

連絡先：TEL：0531 - 22 - 0368

H P : <http://www.isodaen.co.jp/>

FAX：0531 - 22 - 4100

事業概要(新たな活用の視点)

- ・同社は、茶園生産～製茶～卸～小売といった一連の機能を所持している製茶事業者。平成22年度、愛知県茶品評会「深蒸し茶の部農林水産大臣賞」を受賞。愛知を中心に、北海道・東京から中部地域まで30店の直営店を持っている。
- ・お茶自体の需要が減少する中、同社が持つ茶に関するノウハウを生かした製品開発が課題だった。そんな折、同業者より水産物などの素材を“発泡・圧縮・柔軟”加工し、チップス状にできる製造機があることを聞き、同社の新事業にも展開できると考え、シラスの加工業者等と連携し、平成21年3月に茶葉入りのチップス(商品名「お茶入りいきいき健康百歳チップス」)を完成させた。
- ・田原の肉厚茶葉を長時間蒸して作った同社の深蒸茶を混ぜることで、お茶自体が持つカテキン類などの効能を謳うとともに、製造過程では油・添加物を一切使わない健康志向の商品が出来上がった。
- ・せんべいなど固いものはお年寄りや子供に敬遠されてしまうので、彼らも食べやすい薄い物ができないかと試行錯誤した経緯がある。
- ・現在では、東京巣鴨をはじめとする直営店や道の駅、産直広場などで販売を行っている。将来的には、ギフト商品としての需要もにらみパッケージ等の改良を加えていくとともに、シラスだけでなく地域産品である豚や牛などのジャーキー等にも製法を展開していく計画である。



【自社の茶畑】



【茶葉入り極薄チップス】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・地域内で茶葉を入れ込んだチップスを生産している事業者はいない。

市場性

- ・お茶うけのお菓子としては誰でも食べられるような薄さであり、健康食品やせんべい等とは違った市場を開拓できる商品となっている。

販路

- ・販路としては、現状の直営店、道の駅だけでなく、同社が持つ茶の卸ルートを活用してギフト系商品としての拡販を目指す。

地域における関係事業者等との連携

- ・同地域内にある水産事業者(有限会社長栄)よりシラスの供給を受けている。